

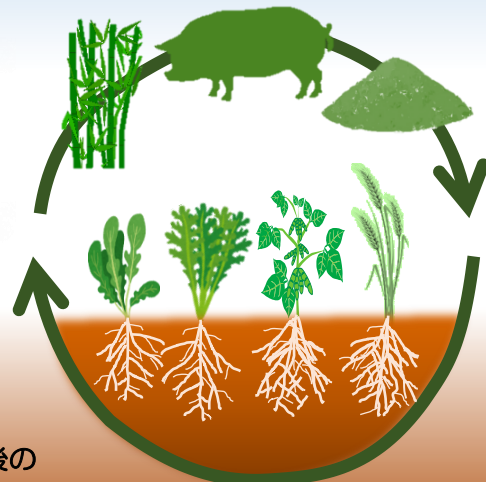
第3回

土づくりの形を考える

アグリコラボいとしま講演会

有機物資源を活用した土づくりと
まちづくりについて考える

有機物資源の利用について糸島の現状と他地域の先進事例を学び、今後の有機物資源利用について考えます。多数のご参加をお待ちしております。



14:00～14:05 開会挨拶

14:05～14:45 糸島市における有機物資源利用に関する現状報告

①『糸島市バイオマス産業都市構想について』

糸島市産業振興部農業振興課 課長補佐 大櫛 邦生 氏



②『こだわりの食料生産とバイオガス発電システムの導入による特徴あるまちづくり』

井上ピッグファーム 代表取締役 井上 博幸 氏



井上ピッグファームにおける抗生物質不使用、遺伝子組み換えでない飼料を用いたこだわりの養豚を紹介します。また、今後の糸島の畜産を考える上で重要な糞尿処理問題とファーム内に建設予定のバイオガス発電プラントについて現状報告を行います。

14:45～15:25 講演

『家畜ふん堆肥を造粒して使う。 成分調整成型堆肥から混合堆肥複合肥料へ』

農研機構 九州沖縄農業研究センター畑作研究領域
畑土壌管理グループ グループ長 荒川 祐介 氏



家畜ふん堆肥には良質な土づくり資材という側面と肥料三要素と石灰・苦土並びに微量要素を含む肥料という側面があります。地域資源として有効に使うためには、造粒や成分調整によって平均的な農家が化学肥料感覚で利用可能な形態・特性を備えた「肥料」として使える資材とすることが求められます。

15:25～15:35 休憩

15:35～16:15 講演

『竹粉末および生ごみの利用』

九州大学大学院農学研究院 准教授 山川 武夫 氏



福岡県で環境問題となっている荒廃竹林の利活用の為に、孟宗だけの竹粉末の大豆栽培でのマルチ資材としての利用並びに水稻の育苗床としての利用が生育と収量に及ぼす影響と熊本県球磨郡多良木町をモデル地区とした生ゴミ収集と堆肥化への利用について概要を案内します。

16:15～17:00 パネルディスカッション

コーディネーター：九州大学大学院農学研究院 准教授 平井 康丸 氏

17:00～17:05 閉会挨拶

日時

3月4日(土) 14時～

場所

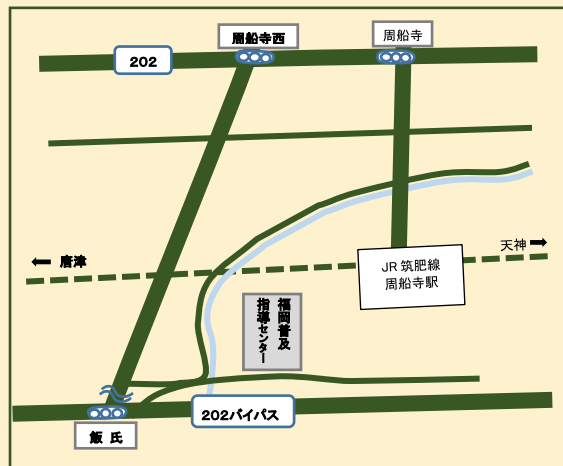
福岡普及指導センター

(定員 100 名 先着順)

〒819-0371 福岡市西区大字飯氏 902-1

・JR 筑肥線周船寺駅より徒歩約 10 分

・お車の方は、建物前駐車場に駐車ください



■主催■ 糸島農業産学官連携推進協議会
(アグリコラボいとしま)

■問い合わせ先■

- ・糸島市農業振興課:平野・木下(TEL:332-2087)
- ・糸島市地域振興課:吉木 (TEL:332-2062)
- ・JA糸島営農企画課:吉田 (TEL:327-2737)
- ・福岡普及指導センター:與田 (TEL:806-3400)
- ・九州大学農学研究院分室:平井 (TEL:802-4700)

参加費無料 事前申込不要
どなたでも参加できます